

様式第 2 (第12条関係)

加入国際学術団体に関する調査票

1 国際学術団体活動状況 (内規第 11 条 活動報告)

団体名	和	世界工学団体連盟
	英	World Federation of Engineering Organizations (略称 WFEO)
	団体 HP (URL)	http://www.wfeo.org/ (日本学術会議が加盟していることの記載 (有) ・ 無)
国際学術団体における最近のトピックについて (学術の進歩、当該団体の推進体制の変化、国際機関・政府・社会との関わり方等)	技術者の世界的な交流と国際連携の推進、国連主導の持続可能な開発目標 (SDGs) を達成する為の活動、発展途上国への技術支援の活動など。 2019 年 11 月に UNESCO 総会において、現代生活における工学の重要な役割と持続可能な開発に必要な技術の開発における工学の役割に焦点を当てるために「世界工学の日」設置が採択された。これに伴い 3 月 4 日を「世界工学の日」と定め、WFEO を中心として工学の役割の普及に取り組むこととなった。	
政策提言や世界の潮流になりそうな研究テーマ・研究方式・研究助成方式等について	SDGs 達成に向けた技術教育・人材育成、工学分野における女性の活躍、防災・環境技術、イノベーション・情報技術、エネルギーなどの専門分野において、持続可能性をテーマにした研究 (WFEO は上記の専門分野をもつ複数の常設委員会を設置している)。	
日本人役員によるイニシアティブ事項や日本からの参加によって進展や成果があったものについて	日本人役員としては、WFEO 副会長兼常設災害リスク管理委員会 (CDRM) の委員長 (2009 年～2013 年石井弓夫、2013 年～2017 年：小松利光) を務めてきた。2017 年より CDRM の水災害分野小委員長を塚原健一が務め、工学分野における国際的な災害リスク管理の議論に大きな貢献を行っている。 2020 年より塚原 WFEO 分科会委員長が、WFEO 活動の基本方針を検討する Strategic Planning Committee 委員に選出され、SDGs 推進等における日本の工学の役割を発信している。	
加入していることによる日本学術会議、学会、日本国民への効果やメリットについて	世界工学会議 (WEC) が 2015 年京都で日本学術会議との共催で 3 日間開催され、国内学会、及び技術者への大きなインパクトがあった。 2020 年 3 月 5 日に日本工学会主催、日本学術会議後援にて開催予定であった「世界工学の日記念シンポジウム」(新型コロナウイルスの関係で中止) は、持続可能な開発における工学の役割を広く日本国民に広報する機会であった。	
その他 (若手研究者・女性研究者育成法、科学者の倫理に関する当該国際学術団体の基本方針や憲章、資金提供ソースの発掘における画期的な方策等の特記事項など)	WFEO は若手・女性技術者に対する人材育成・人的交流委員会を常設している。その委員会では、若手・女性技術者の育成に力を注いでいる。また、また WFEO は倫理委員会も常設しており、特にアフリカ諸国を中心に、技術者倫理の改善に関するワークショップを行い、加えて世界的な技術者倫理規約の標準化を目指している。	

2 今後の予定について (内規第 11 条 活動報告)

総会、理事会の日本開催の予定について (招致等の予定も含め)	世界工学会議 (WECC2015) の開催と共に総会が 2015 年秋に京都で開催された。今後の総会招へい等の予定なし。
日本人の役員立候補等の予定について	2019 年のメルボルンでの総会にて加盟国代表理事に立候補したが選外であったが、Strategic Planning Committee 委員に選出された。
現在、検討中の日本からの提言や推進するプロジェクト等の動きについて	WFEO の常設委員会である CDRM では、災害に関するシンポジウムの開催やユネスコなどの国際機関との国際連携を推進するプロジェクトを立ち上げている。

様式第2 (第12条関係)

3 国際学術団体会議開催状況 (内規第11条 活動報告)

総会・理事会・各種委員会等の状況 (過去5年間及び今後予定されているもの)	総会開催状況	2021年(開催地予定:サンノゼ)、2019年(開催地:メルボルン)、 2017年(開催地:ローマ)、2015年(開催地:京都) (総会は2年に1回開催)		
	理事会・役員会等開催状況	2021年(開催地予定:サンノゼ)、2020年(開催地予定:キガリ)、2019年(開催地:メルボルン)、2018年(開催地:ロンドン)、2017年(開催地:ローマ)、2016年(開催地:リマ)、2015年(開催地:京都)(年2回開催される。本部のあるパリでは毎年春開催される)		
	各種委員会開催状況	(日本は主に災害リスク管理委員会に出席) 2021年(開催地予定:サンノゼ)、2020年(開催地予定:キガリ)、2019年(開催地:メルボルン)、2018年(開催地:ロンドン)、2017年(開催地:ローマ)、2016年(開催地:リマ)、2015年(開催地:京都) (常設専門委員会は、原則年1回開催される)		
	研究集会・会議等開催状況	同上		
上記会議等への日本人の参加・出席状況及び予定	2019年総会(メルボルン) 2018年理事会(ロンドン) 2017年総会(ローマ) 2016年春理事会 2015年 総会・理事会会議(京都) 2015年春 拡大理事会会議(パリ)		5名(代表派遣:塚原健一) 3名(代表派遣:塚原健一) 5名(代表派遣:塚原健一) 3名(代表派遣:小松利光) 多数(代表派遣:小松利光) 5人(代表派遣:小松利光)	
国際学術団体における日本人の役員等への就任状況(過去5年)	役職名	役職就任期間	氏名	会員、連携会員の別
	Strategic Planning Committee委員	2020~2021年	塚原健一	(24期) <u>連携会員</u>
	副会長・専門委員長	2013~2017年	小松利光	(22期) <u>会員</u>
		~		() 期) 会員・連携
出版物	1 定期的(1年数回) 主な出版物名: Eニュースレター (2年1回) 各専門委員会活動報告書			
	2 不定期(1年複数回) 主な出版物名; 各専門委員会の報告書・ガイドラインなど			
活動状況が分かる年次報告等があれば添付又はURLを記載 2018年度会計報告は添付 Biennial Report 2017-2019 http://www.wfeo.org/wp-content/uploads/WFEO_Biennial_Reports/WFEO_Biennial_Report_2017-2019.pdf				

様式第2 (第12条関係)

4 国際学術団体に関する基礎的事項 (内規第3条、4条、5条)

国内委員会 (内規4条第3号)	委員会名	総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 WFEO 分科会
	委員長名	塚原健一 (九州大学教授)
	当期の活動状況	(開催日時 主な審議事項等) 第24期・第1回 (2018年3月9日): 第24期における活動方針, 委員構成について 第24期・第2回 (2019年2月5日): WFEO活動における当分科会及び日本の工学界の活動方針について, 塚原委員長のWFEO理事選挙立候補について 第24期・第3回 (2020年3月9日): 2019年メルボルン総会総括, 理事選挙結果を受けた今後の活動方針について 2019年11月 塚原委員長がWFEO総会(メルボルン)にてSDGs(主に災害分野)達成における日本の工学界の活動を報告 2020年3月 「世界工学の日記念シンポジウム」(日本工学会主催) 後援
内規第3 (国際学術団体の要件関係)	国際学術交流を目的とする非政府かつ非営利的団体である 1. <input checked="" type="radio"/> 該当する 2. <input type="radio"/> 該当しない ※根拠となる定款・規程等の添付又はURLを記載 (http:// www.wfeo.org/about/)	
	各国の公的学術機関及び学術研究団体等が国際学術団体に国を代表する資格を有して加入するものが、主たる構成員となっている(主たる構成員が、いわゆる「国家会員」であるか否か) <input checked="" type="radio"/> 1. 該当する 2. <input type="radio"/> 該当しない ※根拠となる資料の添付又はURLを記載 https://www.wfeo.org/wp-content/uploads/governing_documents/WFEO_Constitution_approved_nov_2019.pdf	
	下記の事項(ア～エ)のいずれか一つに該当するか(該当するものに○印) ア 個々の学術の専門分野における統一的かつ世界的な組織を有するもの イ 研究の領域が複数の専門分野にわたるものであって、統一的かつ世界的な組織を有するもの <input checked="" type="radio"/> ウ 研究の領域が複数の専門分野にわたるものであって、ア又はイの国際学術団体を連合した世界的組織を有するもの エ 構成員のうち、各国代表会員がアジア地域等我が国が関係する地域等に限られるものであって、当該国際学術団体の研究の領域が複数の専門分野にわたるもの	

様式第 2 (第12条関係)

	10 ヲ国を越える各国代表会員が加入している ①. 該当する 2. 該当しない	
	加入国数及び 主要な各国代 表会員を 10 記載	(約 90 ヲ国) ・各国代表会員名／国名 国家メンバー代表者：José Tadeu Da Silva (Brazil), Vilas Mujumdar (USA), Ruomei Li (China), Ashok Basa (India), Haro Bedelian (UK), Khaled Chehab (Lebanon), Nicola Monda (Italy), Tomas Sancho (Spain), Marlene Kanga (Australia), Marwan Abdelhamid (Palestine). (www.wfeo.org/nationals/)